

警察官を装った電話に注意!



警察官や検察官を装い、「あなた名義の銀行口座が犯罪に使われ、あなたは事件の容疑者となっている。」等と架空の事件に巻き込み、逮捕されないための保釈金や銀行口座を調査する名目で、犯人の管理する口座に現金を振り込ませ、現金等をだまし取る手口

※ 携帯電話への着信がほとんど(9割)であり、若い世代もだまされる

① 知らない番号(非通知等)から着信



犯人は警察官を装ってくる

- ・警視庁捜査二課の〇〇です
- ・〇×県警察の〇〇です

等、様々な都道府県警察を騙って電話を架けてくる

【最初のアポ電は警察以外にも】

○総務省、総合通信局など

- ・あなた名義で契約された携帯電話が犯罪に利用されている。

○通信事業者

(NTT、NTTファイナンス、ドコモショップ等)

- ・携帯電話の未納料金がある。
- ・あなた名義で携帯電話が契約されている



警察へ転送します

② ニセの警察官から「あなたは容疑者だ」「逮捕状が出ている」などと脅される



ニセの警察官が言うてくること

- ・詐欺事件グループの犯人を捕まえたら、犯人が使っていた口座(携帯電話)にあなた名義のものがあった。
- ・あなた名義の携帯電話が犯罪で利用されている。
- ・あなた名義の口座がマネーロンダリングに使われている。
- ・あなたは、容疑者になっている。



トークアプリ(LINE等)に誘導

③ トークアプリでニセ警察官とのやりとりに誘導



ニセ逮捕状の写真が送られる

- ・特別にトークアプリ(LINE等)で取り調べを行います
- ・あなたに逮捕状が出ている。(画像で送られてくる)
- ・あなたの口座にあるお金が犯罪資金であるか調査するので、**全額指定口座にお金振り込んで**。後でお金は返ってきます。

警察官→検察官に流れるパターンも

- ・検察官に繋がります。等と検察官に繋がれる



ニセ検事

- ・保釈金として〇〇万円払えば逮捕されない。など

④ 調査のため口座のお金をこちらの口座に移す必要があるなどと言われ、犯人にお金を振り込んでしまう!



全資産を振り込むように要求され、**高額被害**になりやすい。

さらに

ネットバンキングでの振込であれば、振込上限金額が高額に設定できるため**高額被害**になりやすい。